



『全力』

第 62 回運動会がいよいよ迫ってきました。学年だよりや学級だよりには、「全力」で取り組むことの大切さや意味が載せられています。3 年生の教室には「全力尽くせば全て良し」という言葉が掲げられています。

ふれあい自然教室での 1 年生の姿は、仲間と協力をしながらやる時は全力で、楽しむときも全力でという、メリハリのある素敵な姿が見られました。また、六小スポーツフェスタや新町小運動会のボランティアでも、小学生や大人の皆さんの力になろうと、声をかけ、働いている一生懸命な姿がありました。

先週から始まった運動会練習でも、一生懸命に自分の全力で走っている仲間に声援や拍手を送る姿、順位が決まっても最後まで全力で走り抜けたアンカーの生徒に大きな拍手を送っている姿が、工芸室では、クラスのために一生懸命に応援旗を作成してくれる係生徒の姿があります。また、部活動の試合では、チームのために全力でプレーをしている選手はもちろん、全力で選手の応援をして支えている部員や保護者の方、家族の方の姿があります。

『夢は全力で手を伸ばした 1mm 先にある』・・・作詞家で音楽プロデューサーでもある秋元康さんの言葉です。全力で手を伸ばした 1mm 先にあるのなら、まずは全力で手を伸ばさないと、そこに達する権利は手にできない。でも逆にいえば、全力で手を伸ばしさえすれば、後は何かのきっかけで、ふっとそれをつかめることもあるかもしれない。自分で努力を尽くしている中、その先の 1mm に必要なものが何かは分かりません。仲間の支えかもしれませんが、努力した上でさらに目に見えない道に進む覚悟や勇気なのかもしれません。一人ひとり違いはあると思いますが、その先によりやく夢の実現が待っているということなのだと思います。

全力を尽くすことは、目標達成に向けた最大限の努力を意味します。これは単に結果を求めるだけでなく、過程そのものに価値を見出すことでもあります。たとえ結果が思うようにいかなかったとしても、全力を尽くせたことで自分自身の成長を感じ、失敗を恐れずに挑戦する姿勢を育むことができます。全力を尽くす姿は周りの人に感動を与えると同時に、信頼や尊敬を得ることにもつながります。また、どんな環境でも全力を尽くす姿勢は周りの人との結束力を高め、協力できる礎を築くことができます。

さまざまな場面で、みんなが全力で手を伸ばして取り組んだ先にあるのは、それぞれの未来につながるかけがえのないものであることは間違いありません。

展示の紹介

